

予算等審査特別委員会 9月27日~28日

予算等審査特別委員会(議長を除く36人の議員で構成、委員長細川幸男議員、副委員長佐々木幸夫議員)は、条例3件、予算9件、その他3件の15議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では、今年度初めての補正予算が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全15議案が原案のとおり可決されました。



イオン盛岡南店に開店した結いの市

どうなる遠野インターチェンジ

健康診断について

【質問】 旧宮守村の健康診断は検診場所が少なくなり、遠くなった人もあるが受診者数は減っていないのか。また、旧遠野市の受診者数はどうか。

【答弁】 確かに、旧宮守村の検診場所は9箇所から3箇所に減っているが、受診者数は、検診料の自己負担が軽減された影響か少しだけ増えており、旧遠野市の国保加入者は有料となった影響か減っている。

【質問】 市民の健康を守るためにも多くの人々が検診を受けられるようにしなければならないと思うが今後どうするのか。

【答弁】 検診場所については、保健推進委員等の会議で意見を聞き検討する。また、検診料は財政も厳しいおり、自分の健康は自分で守るとの考えから負担をしていただくこととしている。

イオンとの契約内容はどうなっているか

【質問】 イオン盛岡南店への出店(結いの市)について、イオンからの依頼によるものか、それとも市、つまりふるさと公社からの持ちかけによるものなのか。

【答弁】 イオンのほうから県の外郭団体である財団法人岩手産業振興センターを通して話があったと聞いている。

【質問】 商いとほ飽きないでがんばろうというのが第一だ。盛岡の店舗でもがんばってほしいが、道の駅風の丘とも条件等が違うわけで、イオンとの契約内容はどうなっているのか。

【答弁】 面積は約83坪であるが、使用料等の契約の内容については、イオンとの関係もありそのまま話せない。しかし、概略としては、イオンが一般的なテナントと契約している内容と比較して、割合有利なものになっていると考えている。

遠野ICについて

【質問】 秋田・釜石道のICが綾織地区に建設予定であり、その場所については未定とのことだが、新直轄方式のもとで最終的な建設場所の決定権はどこの機関にあるのか。また、決定にあたって市や地元の考え方がどの程度反映されるものなのか。

【答弁】 新直轄方式では財源の内訳は基本的に国が3/4、県が1/4となっており最終的には国土交通省東北地方整備局に決定権がある。

市としては地元の地権者や関係者を含めて協議会を組織し、県との協議を進めながら設計段階から意向を反映させるよう努めていく。



スクールリーダーの効果は本当にあるのか

【質問】 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の中身はどういうものか。

【答弁】 地域学校安全指導員を配置するというもので、児童生徒が安心して学校教育を受けられるよう1名のリーダーを委嘱し、各地区のボランティアの見守り隊への指導等も含めて委嘱をお願いするものである。

【質問】 上郷町ではすでに防犯協会を中心にスクールガードボランティアの活動が展開されているが、たった1名のリーダーの委嘱に50万円という事業内容は、遠野の面積などを考えるとその効果に疑問がある。

【答弁】 この事業は文科省のものであり、それを県が各市町村で取り組むようにとのことで取組んだ事業である。現在、スクールリーダーの選定中であるが、警察官のOBの方々などがいいのではないか思っている。